

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 奴奈川福祉会 支援センターささゆり		
○保護者評価実施期間	令和8年1月29日 ～ 令和8年2月16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	令和8年3月9日 ～ 令和8年3月27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族の満足度(チェック項目27～28)について高評価をいただいている。	・家族との日々の連絡は帰宅時確実に伝えること、必要に応じて家族との連絡ノートでの情報の交換、共有をするなど本人の様子がわかるように発信することを心がけている。 ・こどもの様子について、些細なことでも家族へ伝え、お互い共通認識を持ちながらこどもの成長につながるよう取り組んでいる。	・現在の取組みは継続して行っていく。 ・本人の発達に応じた支援ができるよう家族、関係機関等との情報の共有、連携を図り、定期的な意見交換を実施する。
2	適切な支援の提供(チェック項目7、9)について放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成され、それに沿った支援ができている。	・家族との年3回の面談を通して、その時のこどもの障害の状態や発達の状況などを確認し、こどもの持つ課題やニーズに合わせた計画を作成する。また、状態の変化にあわせて計画の見直しなどを家族と相談しながら行うように心がけている。	・こどもの障害の特性、発達の段階を把握するとともに、こども、家族の意思の確認を丁寧にしながら、将来を見据えた支援計画を作成をする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応(チェック項目23、24)について保護者への各種マニュアルの周知・説明の不足。避難訓練の様子などが発信されていない。	・各種マニュアルの周知については、作成されているが説明が不十分である。また、避難訓練についても実施されているが、その様子について情報の共有が不十分である。	・わかりやすく内容をまとめたマニュアルを改めて作成し、家族へ配布する。 ・避難訓練の様子などを撮影し、それらを用いて説明する。 ・非常災害時を想定した避難訓練を借用している学校教職員と連携し訓練を実施する。
2	適切な支援の提供(チェック項目11)放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会ができていない。	・地域の子どもたちと交流する機会の提供が不十分である。	・長期休業期間等を利用して交流できる機会を提供する。
3	保護者への説明等(チェック項目18)保護者、きょうだい同士の交流の機会が十分でない。	・保護者、きょうだい同士の交流の機会が不十分である。	・保護者同士の交流の機会として年3回の子育て広場の開催を継続し、多くの家族が交流できる内容を計画する。 ・子育て広場以外で交流できる機会を検討する。